



泉川公一 教授



山本和子 教授

ゼロリスクを求めるのではなく、 実現可能な目標を作成することが大切です。

なストレスを与えてしまうことになりません。

ある被災地の避難所では、ノロウイルスに感染して別の部屋に保護されていた方が治療を終えて戻った時、隣の人が「あんな下痢していたでしょ。近寄らんで」と話していた事例がありました。医療者としてハッとさせられたのですが、避難所には感染症に対する知識や理解が乏しい方も多くおられ、そこで差別や偏見が起きてしまうということがあります。これには、そのようなことが起こらないような配慮も求められています。例えばわれわれは、普段医療現場で使用している「隔離」という言葉を、避難所では「保護」という言葉に置き換えていました。隔離という言葉が、被災されている方の心に強く傷を負わせてしまうことをその時に学びました。

多くの人が帰省していた元日に発生した能登半島地震では、収容可能人数をはるかに超える被災者が避難所に収容されていました。感染症が蔓延する危険性がかなり上昇していたものの、ゼロリスクを目指しても実現性はなかなか期待できません。人材や物資が不足している状況では、1000点の感染対策を目指すのではなく、限られ



第2回 沖縄エリア感染症・化学療法研修会

「災害と感染症」

琉球大学大学院医学研究科の感染症・呼吸器・消化器内科学講座が主催する「第2回 沖縄エリア感染症・化学療法研修会」が3月15日、浦添市の国立劇場おきなわで開かれました。「災害と感染症」をテーマに、専門の先生が行った講演の様相を伝えます。

研修会是一般演題と特別講演に分かれ、会に先立って同講座を主宰する山本和子教授は「毎年のように災害が日本を襲っています。今回は、沖縄県においても災害時の感染症について対策に取り組む必要があるとして『災害と感染症』というテーマを選びました」とあいさつ。演者については「いずれも災害医療や感染症対策の第一線に担っている先生方。県民の皆さまに有意義な時間となることを確信している」と紹介しました。

一般演題には3人の演者が登壇。まず沖縄赤十字病院の佐々木秀章医師は、沖縄県災害医療コーディネーターとして、新型コロナウイルス感染症について沖縄県で行われた取り組みの全体像を報告しました。続いて沖縄県立中部病院の高山義浩医師が、被災地における感染症の発生状況を早期に把握して感染防止につなげることに、二次災害を防ぐ体制構築の重要性について解説。大浜第一病院の姫野耕一薬剤科科長は、大規模災害時に現場で医療活動を行う「DMAT」の一員として、東日本大震災（2011年）、熊本地震（16年）、能登半島地震（24年）において消毒薬や感染症治療に必要な医薬品の供給体制の構築を行ったこと

などについて発表しました。休憩をはさんで特別講演に移り、座長を務める山本教授が演者の長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学の泉川公一教授を紹介しました。泉川教授は「二社」日本環境感染学会が主体となって編成し、災害時の避難施設などで感染制御活動を行う職能集団「DICT」の代表。講演では、被災地における災害と感染症の関連性や感染制御対策、DICTの役割についての報告がありました。講演の要旨は左記の通りです。

避難所生活の安定に伴い 感染症発生のリスクが高まる

発災直後は命を守ることが最優先。感染症に関する情報は思うように集まりませんが、この時点での感染症は破傷風やガス壊疽などの外傷後感染などが挙げられます。しばらくして避難所での集団生活が始まり、少し落ち着いてきた頃から呼吸器をはじめとする集団感染リスクが高まります。避難所の衛生環境にもよりますが、マダニ感染症など節足動物の媒介による皮膚感染症にも注意が必要です。2016年の熊本地震では、発災から1週間後に避難所ができましたが、皆さんが少しホッとひと息

限られた資源の中で、 最善の結果を求める

DICTの大きな目的は、大規模災害被災地の避難所における集団感染症を抑制することです。それを踏まえて絶対に忘れてはならないことは、災害時に発生する感染症は支援者が持ち込むケースが少なくないということ。昨年元日に発生した能登半島地震の際にも多くのボランティアが能登入りしましたが、私たちはポスターを作成して「出発前にワクチンを打ちましょう」「体調管理をしっかりとしましょう」などと呼びかけました。避難所では感染症の拡大を防ぐマニュアルを作成し、提示することも大切です。というのも、私が避難所における感染対策の注意点を呼びかけた翌日に、別の方が違う指導をして帰っていったということがありました。そうなることを避けている人たちが混乱し、無駄

た資源の中でどのように最善の結果を求めるかが問われてきます。そこで私たちは実現可能な目標を設定し直しました。例えば、非衛生的な土足運用はやめて土間をしつかり作りましょうと。高齢者の中には靴の着脱が困難な方も多くいらつしやいますから、なるべく負担を強いることのない範囲内で折衷案をつくってあげること重要かなと思います。あとトイレ清掃に関する注意点や、少ない水で清潔に食器や衣服を洗う方法で使用済みオムツの廃棄法などについても、現場の皆さまと話し合いながら進めていきました。

1月3日に開始した能登におけるDICTの活動は、2月19日に金沢医科大学を中心とした石川県チームに引き継ぎを行うまで、84人のメンバーが延べ160カ所の避難所を訪問して103件の相談に応えることができました。また14社の支援により、各避難所へさまざまな支援物資を提供することができました。

厚労省の委託事業として 活動の幅を広げる

DICTは2016年に日本環境感染学会が主体となって編成され、昨年1月の能登半島地震における支援が本格的な活動になりました。今年1月時点で登録メンバーは766人、衛生物資などを無料支援する企業チームは15社。昨年10月1日からは、厚生労働省の委託事業として、事務局を国立国際医療研究センター内に設置しました。

今後は災害発生時に地方自治体からの派遣要請に応じ、チームを派遣して支援を行う流れになります。厚労省と連携しての活動となりますから、これまでより少しステップアップした形での活動ができることになりました。

沖縄で日頃から感染対策に関わっている皆さまは、災害があつた時に自分に何ができるのか不安に思われるかもしれませんが大丈夫です。何かとかなります。感染症に関わる医療者で、知識が少しでもあれば十分に生かせるということを伝えたいと思います。被災された方々に寄り添う気持ちがあれば、特別なことは何も要りません。われわれと一緒にやってみてほしい。と思われる方は、日本環境感染学会や厚労省から自治体を介して募集があると思います。ご参加いただけると大変ありがたく思います。ご清聴ありがとうございました。

医療法人 陽心会グループ

医療法人 陽心会 | 社会福祉法人 陽風会 | 有限会社 ヘルスサポート

理事長 高良 健

<p>大道中央病院 那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005(代) リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050</p> <p>メディカルプラザ大道中央病院 那覇市大道123 TEL.098-886-0007(代) 一般内科部門 TEL.098-886-0115 産科部門 TEL.098-886-5141 看護部 TEL.098-886-0050 人工透析部門 TEL.098-886-5151 健診部門 TEL.098-886-5678</p> <p>介護老人保健施設「やすらぎの里」 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030</p> <p>有料老人ホーム 星の家 那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262</p> <p>グループホーム たかまーみの家 那覇市大道94-3 4F TEL.098-887-0081</p>	<p>グループホーム 大道が丘 那覇市大道94-3 3F TEL.098-885-0036</p> <p>小規模多機能型ホーム 大道 那覇市大道94-3 2F TEL.098-885-0018</p> <p>地域交流センター 大道 那覇市大道94-3 1F TEL.098-885-0018</p> <p>那覇市地域包括支援センター 若狭 那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165</p> <p>ケアハウス 常夏島 那覇市若狭3-8-10 TEL.098-951-0036</p> <p>特別養護老人ホーム 前島 那覇市若狭2-18-17 TEL.098-894-8039</p> <p>那覇市若狭老人福祉センター 那覇市若狭末吉町2-14 TEL.098-886-3510</p> <p>那覇市若狭老人福祉センター 那覇市若狭2-3-11 TEL.098-853-1139</p>	<p>那覇市社人協の家 那覇市社人協1-14 TEL.098-864-0580</p> <p>那覇市地域包括支援センター 新部心 那覇市若狭1-6-15 TEL.098-941-2252</p> <p>福祉用具貸与・販売事業所 那覇市若狭128 TEL.098-885-0100</p> <p>有料老人ホーム 若狭の社 那覇市若狭3-1-47 TEL.098-941-0070</p> <p>有料老人ホーム 松風部 那覇市社人協2-10-14 TEL.098-869-8557</p> <p>ヒルズガーデン那覇 那覇市若狭120-1 TEL.098-885-0300</p> <p>有料老人ホーム ヒルズガーデンアネックス 那覇市松川2-0 8階 TEL.098-975-5275</p> <p>デイサービスセンター 松川 那覇市若狭120-1 TEL.098-885-0300</p>	<p>デイサービスセンター こすもす 那覇市松川2-0 8階 TEL.098-975-5273</p> <p>グループホーム 若狭の家 那覇市若狭3-4-10 3F TEL.098-951-0551</p> <p>小規模多機能型ホーム 若狭 那覇市若狭3-4-10 2F TEL.098-951-0550</p> <p>地域交流センター 若狭 那覇市若狭3-4-10 1F TEL.098-951-0550</p> <p>那覇市地域包括支援センター かなぐすく 那覇市鏡原1 1番68号 1F TEL.098-852-0777</p> <p>在宅総合ケアセンター 大道 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030</p> <p>在宅総合ケアセンター 大道/訪問介護事業所 那覇市大道128 TEL.098-885-0033</p> <p>有料老人ホーム 牧志 那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331</p>	<p>有料老人ホーム せらら 那覇市安里3-1-47 2F TEL.098-923-5707</p> <p>デイサービスセンター リバーサイド 那覇市安里1-1-18 3F TEL.098-862-1501 2F TEL.098-943-2016</p> <p>居宅介護支援事業所 なまぐさ 那覇市若狭2-25-2 TEL.098-943-5565</p> <p>介護用品 那覇市大道116 TEL.098-917-0916</p>
--	---	---	--	--